



西中だより

No. 3 R2.6.14 文責：中野宗利

学校目標：自他の「いのち」を尊び、主体的に学び・行動する生徒の育成
～基礎・基本の定着を図りながら～

学校が再開して1か月が経ちました。子どもたちは学校生活のリズムもでき、学習や生徒会活動等に励んでいます。また、部活動も地区中体連が開催できることとなり、勝利を目指して練習を頑張っています。

◎ 1年生がヨットとシーカヤックを体験しました！

6月2日、4日に新型コロナウイルスの感染防止のため多くの行事が制限を受ける中ですが、地元の自然環境を生かした活動を体験し、地元の良さを知ってもらいたいという願いで実施しました。野外でもあり、感染防止対策も万全にして取り組みました。小学校以来の2度目の体験でしたが、インストラクターさんの説明を受け、恐る恐る船出をしてヨットの操作をしていました。風をとらえにくいときもあり、難しかったと思いますが、上手にコントロールできたペアも多くありました。シーカヤックの方は、二人の息を合わせ、しっかり漕げていてとても楽しそうでした。



◎ あいさつ運動に取り組んでいます！

今年度も生徒会活動として朝のあいさつ運動に取り組んでいます。長年、継続して取り組まれていて西中のすばらしい点の一つです。各学級、各部活動での輪番制で、生徒会の本部役員も毎日参加しています。今年度いいなと思ったところは、2年1組さんが「あいさつをしっかりできていた人を朝の会で発表しよう」という取組を考え、実行しているところです。学級全体であいさつをちゃんとしようという一体感がありとてもよかったです。みんなで目標を立て取り組むことはすばらしいと思います。「気づき 考え 実行する」学級はどんどん成長すると思います。また、全校生徒も昨年度よりもあいさつの声が明るく大きくなったように感じています。とても気持ちがいいです。



◎ 新型コロナウイルス感染防止に伴う出席停止の措置について

佐賀県では、5月5日から約1ヶ月にわたり新規感染者が発生していないことから、「児童生徒等（及び保護者等）が感染予防のために登校しないことを希望する場合は、当分の間これを認め、出席停止等として扱うこと」としていたことは、令和2年6月12日（金）までとすることに改められましたのでご承知おきください。なお、児童生徒等に発熱等がある場合、もしくは家族に感染疑いがある場合の感染防止のための登校自粛については、これまでと同様に出席停止等として取り扱います。

◎新採の先生方が頑張っています。

今年度、新規採用職員として、3名が赴任しました。今回は、大西勝文教諭、大坪咲樹子教諭を紹介します。

大西勝文教諭は、海青中学校や唐津工業高校での講師経験を経ての赴任で、最初から余裕のある勤務ぶりです（本人は余裕はないと言っていました）。担当の数学の授業でもこれまでの経験を生かし、電子黒板を使うなど工夫が随所に見られます。初任者指導の先生や同教科の先生からの助言を受けながら更にわかる授業を目指してほしいと思います。部活動は、サッカー部副顧問です。競技経験はないながらも積極的に生徒に関わり頑張っています。

大坪咲樹子教諭は、3月まで大学院生で、教壇に立った経験は少なかったのですが、生徒への対応もしっかりでき、初任者教科指導の先生からの助言をすぐに取り入れて、授業をより良くしていこうと一生懸命に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染防止のため歌唱指導がしにくい状況で校歌の指導も十分にできず困っていることもありますが、学習する順番を変えたりするなど工夫して授業をしています。部活動は、吹奏楽部担当で熱心に指導しています。

学校事務の江口真優主事については次号で紹介します。



道徳の授業



リコーダーの指導

◎「福島ひまわり里親プロジェクト」に今年も参加！

「福島ひまわり里親プロジェクト」は、2011年3月11日に起こった東日本大震災後、福島県の障害者福祉施設でのお仕事がなくなり、困っていることから、何とか助けたいと始まったプロジェクトです。プロジェクトでは、福祉施設へひまわりの種のパック詰めを依頼し、全国の皆さんに購入してもらうことで新しい仕事が生まれました。西中生徒会もこの趣旨に賛同し、今年もこのプロジェクトから種を購入し種をまきました。少しずつ芽が出て元気に育っています。開花をお楽しみに！



◎マスクを寄付していただきました！ありがとうございます。

先日、学校のマスクの在庫が少なくなってきたことをお知らせしましたが、2年生の保護者から家族にはサイズが合わないマスクで使わないので、学校でよかったら使ってくださいということで100枚ほどのマスクを寄付していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。